

広報

とび

●特集

平成 21 年度 当別町予算編成概要

2009

4

April

たくさんの思い出を胸に母校からの巣立ち

3/18 西当別小学校卒業式

平成21年度 当別町予算編成概要

3月10日から開催された第1回定例町議会で、泉亭町長と高橋教育長から、平成21年度の町予算および教育予算編成方針が述べられましたのでお知らせします。



予算編成方針を述べる泉亭町長

今年から第5次総合計画を推進していくなかで、これまでは、事務事業の徹底した見直しを行い予算を削減してきましたが、起債償還のピークを過ぎた21年度からは積極的に町の収入を増やす施策に転じたいと考えています。

国は、平成20年6月の閣議決定で「経済財政改革の基本方針2008」において、成長力の強化や低炭素社会の構築、国民本位の行財政改革、安心できる社会保障制度と質の高い国民生活の構築など4つの重要課題を掲げ、この重要課題の実現に向け、これまでの方針に沿って、国、地方を通じ最大限の歳出削減を行うこととしました。

地方財政については、昨年8月の平成21年度地方財政収支の仮試算で公共事業関係経費3%、地方交付税3.9%の減額が示され、極めて厳しい局面が考えられたところです。

町では政策評価と連動し、経費の精査、事務事業の選択などに努め、平成21年度予算は、健全な財政運営と持続可能な財政基盤の確立を図り、新たなまちづくりの指針である第5次総合計画での施策を基本に現況の景気対策も視野に入れたものとしています。総合計画では4つの重点プランを掲げています。

重点プラン①

がんばる経済活動への支援

当別町は、自然に囲まれ、森林や田園などを有し、その恵みを最大限に生かし基幹産業である農業振興策を進めていますが、農業の果たす役割は、更に大きなものにしなければならないと考えています。これから求められる農業は、生産者自身が農産物の生産から販売まで一体的に取り組み、所得向上に繋げていく努力が不可欠です。

そのため、生産者・農業団体・商工業者・消費者の連携により当別町農産物の地産地消の拡大を図る取り組みと地域ブランドと地場産品の販売促進を目的とした拠点づくりを推進します。また、隣接する180万人の札幌市民へ、どこよりも新鮮で良質な農産物の供給可能な町のイメージを確立すべきであると考えています。行政と農業者・商工業団体が同じ意識を持ちながら施策を展開することが重要であり、農業関係団体の全面的な協力と農商工連携が不可欠です。また、米粉用米や飼料用米、安全な野菜など多岐に亘る生産に取り組み、当別の特性を生かしたブランドづくりを進めたいと考えています。



これら生産者・関係団体の努力により、農産物を活用した地域ブランドを創出し、北海道農業開発公社・担い手育成センター等と連携して、農業者減少の抑制を図るとともに、全国的な食品関連や流通関連業種の起業・誘致を図るための施策を検討し、雇用の場を創出し人口増加に結びつく政策として推進します。

重点プラン②

いきいきとした地域コミュニティの創造

新しい地域づくりと行政のパイプ役として地域担当職員を配置し、高齢化等で変化する環境のなか、より地域に根ざした行政を推進します。また、各活動団体の活動の場づくりの一環として、ふれあい倉庫での地域ブランドPRと地場産品の販売促進、観光情報発信に努めます。

重点プラン③

地域で見守り育てる 福祉・教育環境の創造

子どもの成長にとって集団での遊びや体験は、人間形成の基礎を培ううえで大切なことです。公立幼稚園・公立保育所が定員割れとなっていることから、幼稚園・保育所を再編し、子どもの成長に合わせ一定規模の集団形成に努めます。

また、当別町に生まれ育つ子が、保護者の就労形態により幼稚園・保育所に分かれるのではなく、ともに地域で育ち、ともに小学校に就学できる機会均等のため、幼稚園・保育所を一体化した子育て環境を形成します。



本町地区では、老朽化の著しい当別幼稚園・東保育所を民営化し、当別幼稚園敷地を建設場所として、同一場所にそれぞれ幼稚園・保育所を合築した施設を平成23年の開設を目標として建設し、幼稚園・保育所それぞれの特性を生かし、連携しながら幼児教育・保育を実施します。西当別地区においては、ふとみ保育所の入所率の低下が著しく、大幅な定員割れが続いていることから、平成23年を目途に認定こども園制度を活用した幼保一元化について検討します。

官民一体となったバス交通体系を構築して実証運行を重ね、20年度で丸3年を迎える当別ふれあいバスは、延べ利用者数が約40万人となり、バス事業も地域に定着しました。地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、地域・町民が主体となる協議会を設立し、実証運行を継続していますが、地域の足として定着するためには、より住民生活と一体化した取り組みが必要です。



重点プラン④

自然や田園など 景観に魅せられるまちづくり

町は、良好な景観形成を実現するため、「景観行政団体」になるとともに、当別町らしい景観づくりに向けた緩やかな規制や誘導を図るため、先日、「当別町景観計画」を策定しました。この計画に基づき、美しい景観づくりに町民の積極的な参加を促し、意識啓発に努めます。

また、農村景観の向上については、農業・農村の基盤を支えるための農業施設の保全や、農村景観の向上を図り、美しく良好な農地により、農産物の安全・安心という付加価値を高めるため、農家の方々の一層の協力による農地・水・環境保全向上対策を着実に推進します。



●おわりに

平成21年度は第5次総合計画がスタートする年ですが、依然として財政状況は厳しく、経常収支比率が90%を超える状況で、投資的経費がわずかに2.3%しかない実情です。

極めて限られた財源ではありますが、町民の財源不足の予算案に対する不安を解消し、安心して暮らせるような施策、事業を推進することができるよう、ポイントを絞り込んで予算を編成しました。

総合計画のエネルギー源である「自然力」「共生力」「創造力」「発信力」の4つの力を束ねて、「自然を身近に感じ活力に満ちた美しいまち当別」の実現に向けて、新たなまちづくりに取り組んでいきます。

平成21年度 教育予算編成概要

新年度からスタートする第3次当別町生涯学習推進計画」を推進し、「ふれあい、かかわり合いの教育」を基本姿勢として教育行政を進めます。



学校教育の推進

児童生徒の実態を把握した教育活動の改善や学校評価を生かした学校運営、地域人材を活用した教育活動の充実に努めます。また、幼・小・中学校の連携、学校教育と社会教育の一体的取り組みとともに、新たに学校教育指導員を配置し、学校への相談・支援体制や調査・統計による児童生徒の実態分析を強化・充実します。さらに、2年後に本格実施が始まる新学習指導要領の実施に向けた準備を進めます。

1. 幼稚園教育の推進 幼小連携のための小学校との交流や、家庭との連携のための教育相談機能の充実を図ります。また、平成23年度からの民営化に向け、関係者への理解活動や協議などの条件整備を図ります。

2. 小中学校教育の推進

●**確かな学力・体力の向上** 全国学力・学習状況調査の継続実施とともに、新たに全国体力・運動能力、運動習慣等調査を実施し、実態把握と分析、改善に取り組みます。また、新学習指導要領で5、6年生での必修が計画されている小学校外国語活動への対応として、英語指導助手の指導時間数増を図ります。さらに、実践力向上のため、当別町学校教育研究推進協議会と連携し学校指定研究や、教職員の長期休業中の研修機会の拡充を進めます。

●**豊かな心の育成** ボランティア活動による人と人との結びつきの体験、現場実習を取り入れたキャリア教育の拡充を図り、食育指導の実践や、地域と結びついた地場産食材の活用を図ります。また、いじめや児童生徒の悩み解消に対応するため、実態把握と指導を進め、学校教育指導員と少年指導センター指導員と連携し、保護者との連携・協力を働きかけます。

●**開かれた学校の推進と教育活動の改善** 学校だより、ホームページの有効活用とともに、指導内容の継続性の検討や教育活動の小中連携等を充実させ、養護学校や関係機関からの支援・連携体制の整備充実を図ります。さらに、大学生や学校支援地域本部事業などによる地域人材の活用により、学校支援の充実に努めます。

●**教育環境・施設整備の充実** 地域防犯連合会や関係機関、団体との情報共有や一体的活動などによるの取り組みを推進します。スクールバスの運行は、通学の利便性確保のため、運行地区の中学生乗車や川下地区の通年運行を図るとともに、運行地区の住民の交通手段補完のため、一般混乗を試験的に実施します。



社会教育の推進

町民や北海道医療大学の人材、環境等の学習資源や社会教育施設を有効活用して社会教育事業を推進し、青少年健全育成のため、社会教育関係団体の支援による地域活動の推進や学校との連携、家庭教育の充実に関わる事業の展開など、家庭や地域の教育力向上に努めます。

●**家庭と地域の教育力の向上** 家庭教育関係事業の拡充を図り、早寝早起き朝ごはん運動などを関係機関などとの連携により進めます。また、学校支援地域本部事業推進のため、学校の支援希望調査や地域人材の発掘、登録などの取り組みを進めます。さらに、町民自主企画講座や北海道医療大学との連携による当別学講座の開催を進め、地域人材を活用した人材バンク登録の拡大を図り、出前講座等を推進します。

●**青少年教育の推進** 少年指導センターと学校との連携強化、指導機関、関係機関との情報共有や連携強化による巡回指導の充実などに努め、インターネット上の被害、加害防止対策を強化します。また、町内会や子ども会との連携、ジュニアリーダーの協力による通学合宿事業を継続実施します。

●**文化・芸術活動の推進** 読書週間の設定や絵本の読み聞かせ事業の実施などにより、図書室の利用促進を図ります。また、開拓郷土館の資料活用の取り組みを進めるほか、伊達記念館・伊達邸別館の展示品、古文書の整理、ボランティアガイドの養成と活動支援を行います。

●**スポーツ活動の振興** 町民のニーズに応じたニュースポーツの紹介事業を推進するとともに、子どもの体力・運動機能の向上を目指し、体育協会、スポーツ少年団、スポーツ指導者との連携による子どもスポーツ事業を実施します。また、幅広い年代がスポーツに親しみ、指導を受けることのできる総合型地域スポーツクラブ設立に向け支援を行います。

教育予算編成方針を述べる
高橋教育長



平成21年度 当別町各会計予算

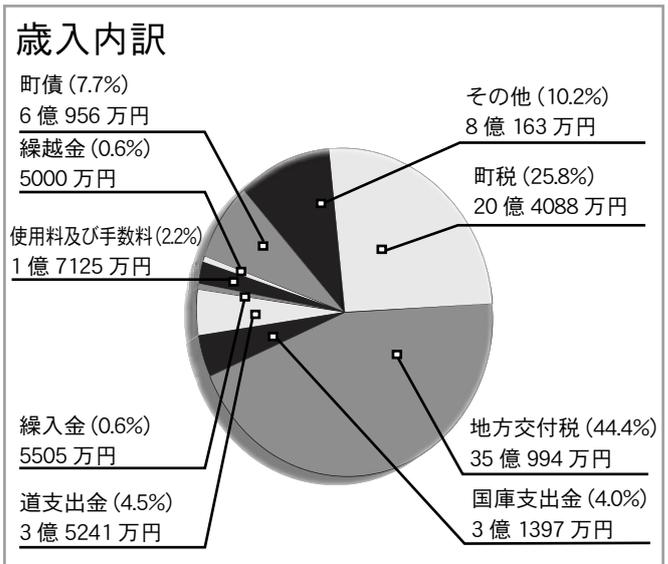
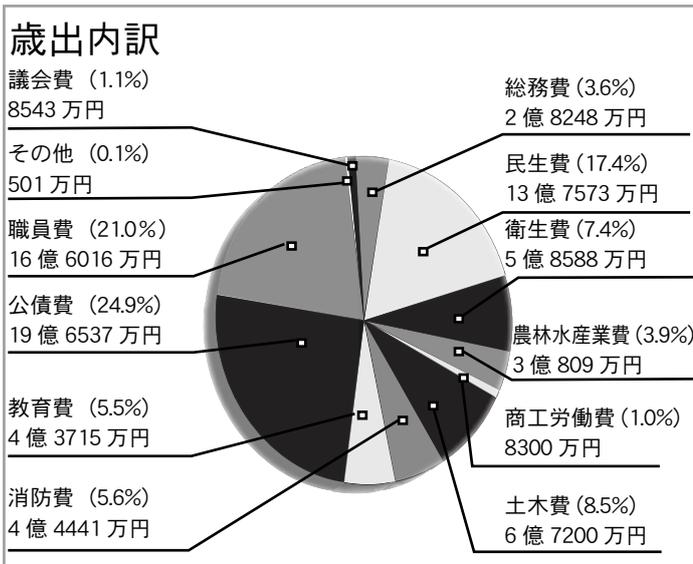
平成21年度
総予算 135億4418万円
一般会計予算 79億469万円

●政策評価との連動による事務事業の選択と重点化を行い、健全な財政運営と持続可能な財政基盤の確立を図りつつ、今年度からはじまる新たなまちづくりの指針である第5次総合計画での施策を基本に現況の景気対策も視野に入れ、限られた財源のより一層の効果的・効率的な活用を目指した予算を編成しました。

会計区分	平成21年度 当初予算額	平成20年度 当初予算額	増減額	増減率
一般会計	79億469万円	78億2425万円	8044万円	1.0%
国民健康保険特別会計	21億9689万円	21億3027万円	6662万円	3.1%
老人保健特別会計	127万円	2億1389万円	△2億1263万円	△99.4%
下水道事業特別会計	12億670万円	9億9697万円	2億7003万円	21.0%
農業集落排水事業特別会計	9730万円	8239万円	1491万円	18.1%
介護保険特別会計	10億4291万円	10億4139万円	152万円	0.1%
介護サービス事業特別会計	5797万円	5913万円	△116万円	△2.0%
後期高齢者医療特別会計	1億5857万円	1億6777万円	△920万円	△5.5%
小計	126億6630万円	125億1607万円	1億5023万円	1.2%
水道事業会計	8億7788万円	8億5033万円	2755万円	3.2%
合計	135億4418万円	133億6640万円	1億7778万円	1.3%

※1万円未満の端数は、四捨五入しているため、合計と一致しない箇所があります。

●平成21年度一般会計予算内訳



●主要事業の紹介

当別町第5次総合計画

基本施策に基づく主要事業・予算

- 住み良いまちづくり（地域づくり・生活環境）
町道藤岱線道路改築事業 7036万円（建設水道部）
- すてきな人づくり（子育て・生涯学習）
小・中学校耐震診断・改修事業 4381万円（教育委員会）
- 元気なまちづくり（健康・福祉）
後期高齢者医療事業 1億5857万円（住民環境部）
- 活力あるまちづくり（産業）
雇用創出事業 2322万円（経済部）
- 美しいまちづくり（自然・環境・景観）
ごみ収集運搬・減量化事業 9320万円（住民環境部）

当別町第5次総合計画

重点施策に基づく主要事業・予算

- がんばる経済活動への支援
アンテナショップ・サテライトショップ等出展事業 658万円（企画部・経済部）
- いきいきとした地域コミュニティの創造
町内会運営費補助制度 938万円（住民環境部）
- 地域で見守り育てる福祉・教育環境の創造
私立保育所運営費 4616万円（福祉部）
- 自然や田園など景観に魅せられるまちづくり
農地・水・環境保全向上対策事業 5753万円（経済部）

平成20年度

当別町青少年善行賞・文化賞・スポーツ賞

町内外で顕著な活躍をされた団体・個人の功績を讃え、2月28日（土）に、ゆとろで平成20年度当別町青少年善行賞・文化賞・スポーツ賞授与式が行われました。各部門で受賞された皆さんの功績をご紹介します。（敬称略）

青少年善行賞

青少年善行賞

次代を担う町民として、豊かな心と実践力の育成に寄与した優良な青少年団体並びに、青少年の模範となる善行者が対象。



当別太・ピトエ・川下子ども会

春期の雪解け時において、近隣の町道の脇や道路側溝のゴミ拾いなどの清掃活動を行った。

地域の環境整備に努めることにより、地域を大事にする心を育て、「美しいまち当別をみんなでつくる条例」に沿って行動し、美しいまちづくりに貢献している。

西当別中学校合唱部

特別養護老人ホーム「長寿園」より、入所者の誕生会での合唱の発表依頼を受け、自主的・意欲的に出演し、入所している高齢者の方々から大変喜ばれると同時に高齢者の方々に感動と生きる喜びを与えた。

このような要請があれば自主的・積極的に参加し、聞く人に喜ばれるよう日々の練習に励んでいる。

北海道当別高等学校家庭クラブ

地域への貢献と奉仕の精神でボランティア活動などを行っており、その中でも、核家族の増加に伴い日常生活において高齢者の方々と関わる機会が少なくなっていることから、特別養護老人ホーム「長寿園」や介護老人保健施設「愛里苑」への訪問を行っている。

高齢者の方々とふれあいの中で、紙芝居を読んだり、折り紙を折って作品を仕上げたり、フラワーアレンジメントなどを行うなど、高齢者の方々が喜ぶ活動や思いやりの心を育む活動を実践している。

北海道当別高等学校国際協カクラブ

国際理解と協力活動を柱に地域への貢献とボランティアに力を入れながら活発に活動を行っており、その中でも町の施設「ふれあい倉庫」にて、カンボジアの地雷の廃絶と撤去の為に募金を目的とした「一日喫茶」の営業を行い、新聞等にも大きく紹介された。

その際には地元の食材を使ったメニューを提供し、地域の紹介を行なうなど、「わが町当別」を意識した地元住民との交流にも力を注ぎながら活動を展開している。

文化賞

文化賞

全国、全道規模の各種コンクール等で優秀な成績を収めた個人、団体並びに文化の向上に尽力された個人・団体が対象。

当別小学校

第 39 回全道書道コンクール
(学校の部)
団体優勝

第 40 回記念全国学生書道展覧会
(学校の部)
団体優勝

当別短歌会

平成 3 年に設立され、以来 17 年にわたり、月例会や当別町文化祭への参加等を通じて日本古来の短歌の伝承に貢献している。平成 18 年度には、短歌や昔話を通して正しい言葉や美しい言葉を親子に伝える「町民自主企画講座」を開催するなど、家庭教育力の向上や伝統文化の振興発展に多大な貢献を果たしている。



山本 祐輔	当別小学校 2 年	第 39 回全道書道コンクール 特別賞二席
松澤 亜樹	当別小学校 4 年	第 40 回記念全国学生書道展覧会 記念賞四席
山本 研太	当別小学校 1 年	第 39 回全道書道コンクール 特別賞五席
工藤金太郎	当別小学校 2 年	第 39 回全道書道コンクール 特別賞
小石川愛果	当別小学校 2 年	第 39 回全道書道コンクール 特別賞
前田 楓花	当別小学校 2 年	第 39 回全道書道コンクール 特別賞
高橋 舞音	当別小学校 3 年	第 39 回全道書道コンクール 特別賞
石沢 寿枝	西当別中学校 3 年	第 39 回全道書道コンクール 特別賞
安住紗耶香	当別小学校 5 年	第 40 回記念全国学生書道展覧会 記念賞
山本 美咲	当別小学校 5 年	第 40 回記念全国学生書道展覧会 記念賞
齋藤 夕海	西当別小学校 6 年	第 40 回記念全国学生書道展覧会 記念賞
清水 愛	当別高等学校 1 年	第 61 回北海道学生書道展覧会 推薦
工平 将大	当別高等学校 2 年	第 61 回北海道学生書道展覧会 特選
坂本 遼祐	当別高等学校 2 年	第 61 回北海道学生書道展覧会 特選
木屋路 望	当別高等学校 1 年	第 53 回全道学校書道展 特選
武田龍一郎	当別小学校 2 年	朝ごはん標語コンクール(小学生部門) 最優秀賞
宮本 敬多	西当別小学校 6 年	第 22 回北海道青少年「北国の冬」創意くふう展 特別賞(北海道経済産業局長賞)
佐々木優理	西当別中学校 3 年	第 36 回中学生作文コンクール 特別賞
眞島いづみ	北海道医療大学歯学部 5 年	平成 20 年度スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム(SCRP) 日本代表選抜大会 第 2 位
岡 由紀恵	5 年	
青木 美空	4 年	

スポーツ賞

スポーツ賞

全国、全道規模の各種スポーツ大会等で優秀な成績を収めた個人、団体並びにスポーツの向上に尽力された個人・団体が対象。

西当別小学校 6 年 1 組

30 人 31 脚全国大会 2008 第 3 位

当別高等学校女子ソフトボール部

平成 20 年度全道高等学校体育大会
第 59 回北海道高等学校ソフトボール選手権大会
第 2 位



眞田 涼太	西当別小学校 4 年	第 21 回全国少年フェンシング大会 第 5 位
須藤 友希	西当別中学校 2 年	2008 年全道ジュニアゴルフ大会 第 2 位
成田 和広	当別高等学校 3 年	第 63 回国民体育大会 ソフトボール競技 少年男子 第 1 位 (北海道代表チーム)
鍛冶 志成	3 年	
末武 若奈	当別高等学校 3 年	第 63 回国民体育大会 ソフトボール競技 少年女子 出場 (北海道代表チーム)
鈴木 美貴	3 年	
高橋千賀子	3 年	
吉野 彩	2 年	

後期高齢者医療制度のお知らせ

保険料の計算方法・保険料の軽減について

平成 21 年度の保険料は、北海道後期高齢者医療広域連合において、平成 20 年中の所得をもとに計算し、7 月に決定されます。

ただし、保険料を特別徴収（年金からの天引き）で納めていただく方の 4 月、6 月および 8 月に支給される年金から天引きされる保険料は、平成 21 年度の保険料が決定していない時期に重なるため、平成 20 年度の保険料をもとに仮算定しています。

保険料の計算方法

均等割額
43,143 円

+

(※ 1)
所得割額
(総所得金額等 - 33 万円) × 9.63%
基礎控除 所得割率

=

年間保険料 (※ 2)
限度額は
50 万円

- (※ 1) 総所得金額等とは、平成 20 年中の収入から必要経費（公的年金等控除額など）を差し引いた額のことであり、社会保険料控除や配偶者控除などの「所得控除」を差し引く前の額です。
なお、遺族年金や障害年金は、公的年金収入に含みません。
- (※ 2) 年間保険料は、100 円未満の端数を切り捨てます。また、年度の途中で加入された方の年間保険料は、月割で減額されます。

所得の低い方への保険料の軽減

①均等割額の軽減 所得の低い世帯の方は、次の表の区分に応じて、均等割額が軽減されます。なお、平成 20 年度に設けられた均等割 8.5 割軽減に替わって、7 割軽減と 9 割軽減が設けられます。

世帯内の被保険者と世帯主の平成 20 年中の総所得金額等 (※ 3) の合計額	平成 21 年度の均等割軽減割合	軽減後の均等割額
33 万円以下で、かつ被保険者全員が年金収入 80 万円以下でその他の所得がない場合	9 割軽減 (前年度は 8.5 割)	4,300 円
33 万円以下の場合 (上記に該当する場合を除く)	7 割軽減 (前年度は 8.5 割)	12,942 円
33 万円 + 24 万 5 千円 × 被保険者数 (世帯主である被保険者を除く) 以下の場合	5 割軽減 (前年度と同じ)	21,571 円
33 万円 + 35 万円 × 被保険者数 以下の場合	2 割軽減 (前年度と同じ)	34,514 円

(※ 3) 65 歳以上の方の公的年金に係る所得については、その所得から特別控除（15 万円を限度）を差し引きます。

②所得割額の軽減 総所得金額等から 33 万円を差し引いた額が 58 万円以下の方は、所得割額が 5 割軽減されます。

※例えば、公的年金収入のみの方の場合、その収入が 211 万円以下であれば、所得割額が 5 割軽減されます。なお、公的年金収入が 153 万円以下の方は、所得割額は算出されません。

被用者保険の被扶養者だった方の保険料軽減

後期高齢者医療に加入する直前まで被用者保険の被扶養者だった方は、後期高齢者医療に加入してから 2 年間、保険料が軽減されます。平成 21 年度は、所得割額の負担はなく均等割額が 9 割軽減されるため、年間保険料は 4,300 円になります。

▼問合せ 住民課国保・後期高齢者医療係 (☎ 23 - 2467)



定額給付金のご案内は届きましたか

町が実施している定額給付金を受給するためには、3月中旬に町から簡易書留によりお届けした申請書に必要な事項を記入して、郵送により返送しなければなりません。

もし、申請者（受給者）の方（平成21年2月1日現在で当別町の住民基本台帳に記録されている世帯主の方）でお手元に申請書が届いていない場合は、定額給付金実施本部までご連絡ください。

▼申請期間 3月23日（月）～9月24日（木）（消印有効）

期間内に申請書の提出がなければ、定額給付金の受給を辞退したとみなしますので、ご注意ください。

▼相談窓口 申請書の記載方法などの相談窓口を役場1階定額給付金実施本部に開設しています。また、太美地区についても、次の日程で臨時的相談窓口を開設しますので、ご利用ください。

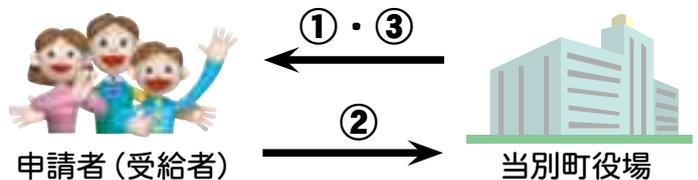
◇日時 4月3日（金）・8日（水）・15日（水）

11時～16時

◇会場 西当別コミュニティーセンター

▼問合せ 定額給付金実施本部（☎23-2330）

申請から給付までの流れ



手続きの流れ

①ご案内・申請書等を発送

②提出書類を作成し、郵送

③提出書類の審査、決定通知書の発送、給付金の支給

※振込口座の通帳の写しなど、提出書類の入れ忘れにご注意ください

申請書は、記載例を参考に作成し、返信用封筒を利用して郵送で提出してください

20% 町内限定 お得 プレミアム商品券を発売

当別町商工会では、身近な商店でお買い物ができるお得な商品券を発売します。商品券の取扱店は、商工会加盟の店舗などで、商品の購買のほか、飲食やサービスに対しても利用できます。

詳細は、お問い合わせください。

▼販売額

10,000円（500円×24枚綴りで12,000円分）

16歳以上の方で1人2セットまで購入できます

▼販売総数

5,000セット（なくなり次第販売終了）

▼販売期間

5月中旬販売予定

▼問合せ

町商工会（☎23-2447）



子育て応援手当を支給します

町は、小学校就学前の幼児教育期の子どもを持つ多子世帯に対し、子育て応援特別手当を支給します。

▼支給対象

平成20年度において、小学校就学前3年間に該当する子ども（生年月日が平成14年4月2日から平成17年4月1日まで）であって、第2子以降の子ども。※子どもの数え方は、18歳以下の子ども（生年月日が平成2年4月2日以後の子ども）の中から年齢順に第1子、第2子と数えます。

▼申請者・受給者（基準日は、平成21年2月1日）

対象となる子どもと同居してる世帯主

▼給付額 対象となる子ども1人あたり36,000円

▼申請・給付方法 既に対象の方に郵送されている申請書に必要な事項を記入・押印の上、同封の返信用封筒に入れて返送してください。

給付方法は原則口座振込となります。

▼申請期間 9月18日（金）まで

▼その他 ①この手当は、平成20年度限りの措置です。

②申請期間を過ぎると手当を受給することができません。

③対象となる子どもがいる世帯で申請書が郵送されていない方がいましたら、ご連絡ください。

▼提出・問合せ先 子育て推進課子ども係

（ゆとろ内・☎23-3024）

ふれあい から 学び の輪へ



第3次当別町生涯学習推進計画を策定

町教委では、町内の各種団体関係者や一般公募の方々に構成された当別町生涯学習推進計画策定委員会のご協力により、平成21年度から5年間の生涯学習施策の方向性を示す第3次生涯学習推進計画を策定しました。

この計画では、各年代ごとに町民の皆さんが主体的に学習活動ができる環境や目標づくりを進め、地域活動にいかす事により、活力ある地域づくりに結びつけることを目指しています。

本計画の目的

町民が自発的に学び、学んだ成果が地域でいかされる「生涯学習社会」の実現に向けた取り組みを進めていきます。

生涯学習推進計画 基本目標

ふれあいから学びの輪へ
「川、森、人の恵みのまち当別」の創造

学校・家庭・社会の連携を重視

学校支援
「生きる力」を育む学校教育の推進

家庭・子育て支援
「ふれあい・健康」を育む家庭教育の推進

社会・地域支援
「生きがい・学び」を育む社会教育の推進

世代・地域の壁を越え、心豊かにともに支え合い、ふれあいにあふれるひとづくりへ

本計画書設置場所

本計画書は、当別町役場・ゆとろ・総合体育館・白樺コミュニティセンター・太美出張所・西当別コミュニティセンター・学習交流センターに配置しているほか、町教育委員会ホームページから閲覧できます。
◇町教委ホームページアドレス <http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/kyou-kyouiku.htm>

▼問合せ 社会教育課（総合体育館内・☎22-3834）

自己のライフプラン

これからの推進すべき方向性

乳幼児期〈保育所・幼稚園など〉(0歳～6歳)

- ◎家庭教育、子育て環境の充実を図りながら、子どもたち一人ひとりを理解し、その特性に合った心身の発達の基礎づくりの支援
- ◎幼児の情操や創造性を育むとともに、集団生活を通じて社会性を養う基礎づくりを重視し、義務教育に入る準備の支援

少年期〈小学校～中学校〉(7歳～15歳)

- ◎確かな学力の向上と豊かな人間性や感性、健やかな体の育成などの基礎づくりや生きる力の育みを支援
- ◎規律ある集団生活や地域社会の活動に積極的に参加する環境づくりの支援
- ◎人の痛みがわかり他人を思いやる「心の教育」の一層の充実の支援
- ◎体験活動を通して望ましい職業観や勤労観の育みの支援

少年期〈高等学校など〉(16歳～18歳)

- ◎生きる知恵につながる確かな学力を育み、自立した生き方を支える教養の習得への支援
- ◎望ましい職業観や勤労観の育みから、自発的な社会参加の準備を支援

青年期〈大学など〉(19歳～24歳)

- ◎心豊かな人生を送るための必要な知識・技術の習得の支援
- ◎社会の変化に対応し、新しい時代を切り拓く力の育みを支援

成年期(25歳～39歳)

- ◎望ましい人間関係をつくるとともに、生活を充実させるための自己実現を支援
- ◎豊かな家庭生活と地域と連携した子育てを支援

壮年期(40歳～60歳)

- ◎生活を充実させるための自主的な学習活動の推進や個々の能力や技術を地域でいかす環境の整備の支援
- ◎子どもの考えや気持ちを理解し、地域で子どもを守り育てる地域の教育力の向上の支援

熟年期(61歳～80歳以上)

- ◎健康の保持・増進と生きがいづくりの支援
- ◎これまで蓄積された経験をいかした次世代連携、地域づくりへの支援



当別町地域情報化計画を策定

日常生活や地域活動の手助け、産業の活性化など、豊かで活力あるまちづくりにITなどを積極的に活用することが求められています。また、パソコンや携帯電話、インターネットなどの情報機器を有効に活用するためにも、すべての町民がもっとITを活用できるような取り組みが必要になります。

地域情報化計画では、すべての町民がITの恩恵を実感できるような施策を進めることとしています。

計画の基本理念

いつでも、どこでも、誰でもITの恩恵を実感できる
ゆとりと活力が感じられる町の実現

重点施策

1. 広域連携した情報システムの活用を積極的に進め、システム全体の最適化を目指す
2. 町民自ら情報化に取り組み、町民本位の情報化の仕組みづくりを目指す
3. 情報システム全般のセキュリティ高度化、機能向上を目指す

取り組みの内容

- ・ 利便性の向上と情報の充実を図ったホームページの刷新
- ・ 町民の活動を支援するインターネットを活用したポータルサイトの構築
- ・ IT講習会の開催 など

計画書の本編は、町ホームページからご覧になれます。計画の推進に向けた取り組みにご理解とご協力をお願いします。

▼問合せ 情報課情報管理係

(☎ 23 - 3069/E メール it-joho@town.tobetsu.hokkaido.jp)



当別町景観計画を策定

当別町は、平成20年2月に北海道の同意を得て、道内10番目の景観行政団体となり、景観計画を定めることで町内の一定規模以上の建築物や工作物の新築や増改築に対して規制をかける事が出来るようになりました。

今回定めた当別町景観基本計画では、平成19年3月に定めた景観形成基本計画をもとに、美しい景観を形成するために必要な事項などが定められています。

計画書の本編は、町ホームページからご覧になれます。

良好な景観の形成のための行為の制限

当別町全域において、景観に大きな影響を与える行為を景観法による届出の対象とし、一定規模以上の建築物や工作物の新築、増改築、開発などには、届出義務が生じます。この届け出は、6月1日から開始となります。

景観重要構造物・樹木の指定の方針

良好な景観を形成し、道路その他の公共の場所から容易に見ることが出来る建造物及び樹木については、様々な観点から評価し、必要に応じて地区の景観の核となるものとして指定します。

屋外広告物の表示・掲出する物件の設置の制限

屋外広告物は、無秩序かつ過剰に設置されることで、景観を損ねるものとなることから、環境に十分に配慮されるように対応します。

また、今後、町が広告景観整備特区の指定を受け、きめ細かい誘導をできるように取り組みを進めます。

景観協定の活用

町民自らの手で、地域のより良い景観の維持・増進を図るために、自主的な規制を行うことができる「景観協定」の制度活用を支援し、町民の自発的な活動による良好な景観づくりを促進します。

▼問合せ 美しいまちづくり課 (☎ 23 - 3073)



歴史研究を通して 先人の思いを伝える

当別町歴史研究特別顧問

もとひろ
坂田 資宏さん

仙台藩岩出山伊達家による当別への移住や開拓をはじめ、当別の歴史を長年に亘って調べ、掘り起こしてきた坂田さん。知られていない事実が次々と明らかになります。

歴史の編纂を通して 当別と関わってきたのですね

開発局に勤めていたのですが、昭和 28 年に篠津原野の開墾の仕事をする事になり、当別に来ました。

そこで、当別出身の作家「本庄陸男」が仙台藩岩出山の土族による当別での移住の苦難を書いた小説「石狩川」と出会い、「こんな近くに明治維新があったのだ」と感銘を受け、当別開拓の歴史のとりこになりました。

戊辰戦争に敗れ、仙台から当別へ移住した当別開拓の歴史は、他の地域には類を見ない苦労の連続でした。私は、広く知られていない先人の苦労を伝えたいと思い、史料の収集、研究を続けました。

昭和 43 年に、当時の近藤辰雄町長から町史編纂への協力を依頼され、昼は開発局の仕事、夜は歴

史資料の解説と二足の草鞋を履きながらやってきました。

一番大変だったのは、史料集めでした。開拓当時のことを知る人の家を訪ね、史料が残っていないかを訪ねて回りました。

仙台藩から移住してきた方たちは、日記や記録をたくさん残していました。多くの史料が集まりました。

史料には、必死の思いで開墾に取り組んだこと、稲作が始まるまでは北陸地方から米を買い、函館経由で当別まで運んでいたことなど、興味深い事実が多く眠っていました。

まだまだ新しい発見が 出てくるのですね

現在は、稲作の歴史を明らかにするために、新しい土功組合史を書こうと思っています。

開拓当時は、食糧をどう確保するかが最大の課題でした。

記録を調べると、入植直後から村の入口である田の沢で水稲の試作を始めました。しかし、鳥獣被害や失敗の連続でした。その後、北海道稲作不適地を理由に洋食を普及するよう政策的に強要されました。さまざまな実験、試作が実を結び、明治 29 年には、1 千町歩の造田計画が立てられ、この頃から当別村の水田開発が飛躍的に進みました。

当別の歴史は、農業とともに歩んできたと言っても過言ではありません。開拓当時の人たちは、田畑を耕すことに併せて、人材育成に力を注いできました。

私は、当別の歴史研究を通して沢山のひと々と関わり合いを持たせていただきました。当別の歴史を調べ、後世へ伝えることが、私の使命であると考えています。

■ ふれあい倉庫情報

【カルチャーホール】

火災予防ふれあいフェスタ 2009

火のしまつ 君がしなくて 誰がする

▼日時 4月26日(日) 10時～12時

▼内容 消防職員による火災予防劇、当別中学校吹奏楽部防火コンサート、幼年消防クラブ防火玉入れ大会、豚汁無料配布など

▼主催・問合せ

当別消防署予防係 (☎ 23 - 2537)

【多目的ホール】

中川絵画塾 塾生春の作品展

▼日時 4月21日(火)～26日(日) 10時～18時

▼主催・問合せ 中川絵画塾 (☎ 22 - 3675)

◆時間が変更になります◆

春の訪れと共にふれあい倉庫の販売時間が変わります。

▼販売時間 9時30分～18時

当別駅南口駐車場の利用時間が変わります。

▼利用時間 9時～20時まで

◆ふれあい倉庫の使用について◆

▼申請について

施設の空き状況をご確認いただき、使用の3日前までに申請されるようお願いいたします。申請書は町ホームページ「ふれあい倉庫情報」からダウンロード出来ます。

<http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/>

▼使用料の支払いについて

町は、ふれあい倉庫を使用する場合に発生する使用料の徴収事務を、ふれあいホール運営協議会に委託したので、お知らせします。

使用料を納入する場合は、ふれあい倉庫の事務カウンターへお越しください。

◆レジ袋削減に取り組みます◆

ふれあいホール運営協議会では、環境への配慮や経費削減対策として、マイバッグ等の持参の呼びかけを強化するとともに、レジ袋の一部有料化を検討しています。

レジ袋の有料化は、6月からを予定していますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

▼問合せ ふれあい倉庫 (☎ 27 - 6600)
商工課 (☎ 23 - 3129)

続

町長の日記

平成21年3月15日(日)

例年の事ながら3月は卒業式シーズンで、今年は北海道医療大学、当別高校、西当別中学校、当別幼稚園の式典に参列出来た。

この時期は、定例町議会の日程が合わないとなかなか出席できないので、久しぶりに色々なレベルの学校の式典に参列出来てラッキーだった。

式典は、それぞれ伝統の校風に工夫が凝らされて、とても感激した。今年も当別にある大学から、博士の称号を与えられた16名の英才を先頭に約600名の学生の内、女子大生は全員が色とりどりの袴姿で気品に満ち溢れていた。

当別高校は今年から受験者が増え、一段と狭き門になった感じだが、約150名の卒業生が大変落ち着いて知的な雰囲気が漂っていた。

中学校も幼稚園も一人ひとりの名前を呼ばれて壇上で証書を頂くシーンは、「巣立ち」の儀式そのもので、家では見られない我が子の緊張した顔をビデオカメラを片手に、遠目で見つめている御両親の感慨深そうなお気持ちが式場全体を包んで、私まで胸がジーンとなった。

流石に大学や高校は建物がしっかりしているが、幼稚園は大分老朽化して、可愛い園児達に申し訳ないなあと痛感した。それでも、再来年には幼稚園も新築する計画を決めたので良かった。

今日は日曜日でもイベントが無く、昨日、卒業式で家族愛に魅せられたので、グループホームの母の顔を見たくなくなった。母は朝からお風呂に入れて頂いて、上機嫌でヘルパーさんに両手を合わせて拝むような仕草で感謝していた。

母の実家は四国の阿波なので“お世話になった”時に“迷惑をかけた”と言うのが口癖で、私に「ヘルパーさんに迷惑をかけた」と言いながら喜んでた。

昔、父の出征中、母は祖父と畑仕事をしなければならず、小学校の行事に祖母が来る事があった。そんな時、母は祖母に「迷惑をかけました」と言っていたのを思い出した。

そして、もう60年も前、私の卒業式で、出征兵士の銃後の妻だった私の母は、“蛍の光”や“仰げば尊し”の歌をどんな想いで聞いていたのだろうかとしみじみ考えた。

当別町長 泉亭俊考

相談

開設します 消費生活相談の窓口

近年、詐欺や悪質商法が年々巧妙化して被害に遭う住民が増加傾向にあるため、消費生活相談窓口を開設し、相談員を配置します。

日頃の生活の中で、消費生活に関する困ったことや問題と感ずることがありましたら、1人で悩まず、お気軽に相談してください。

▼受付日時

毎週月～金曜日

(年末年始・祝祭日を除く)

8時45分～12時、13時～15時

▼相談場所

役場1階環境生活課

▼問合せ 環境生活課町民生活係
(☎ 23 - 3209)

作品募集

作品を募集します 伝えたい北海道の物語

みなさんの伝えたい話を絵本にして、子どもたちや次世代に伝えませんか。

▼募集内容

道内各地で伝えられている「言い伝え」、「生活史」などに関するもので、わかりやすい内容として制作した絵本。

詳しくは、北海道のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sk/ckk/chicho/ehontop.htm>

▼募集期限

4月30日(木)

▼応募先 町企画課企画調整係

▼問合せ 北海道企画振興部地域づくり支援局地域再生グループ
(☎ 011 - 204 - 5149)

募集

60歳以上の方を募集 町高齢者学園「ことぶき大学」

趣味の講座や健康、生き甲斐づくりの講演会、見聞を広げる視察研修など楽しく学べる内容が盛り沢山です。お友達を誘い合せて申し込みください。

▼日時 5月～平成22年3月

第2、第4金曜日10時～12時

▼場所 白樺コミュニティーセンター(講座の内容により開催日、場所が変更することがあります)

▼定員 40名

▼入学金 5,000円
(保険料、講師料、研修旅費含む)

▼申込期限 4月24日(金)

▼申込み・詳細

町教委社会教育課社会教育係
(学習交流センター内・☎ 23 - 0573)

講座

自主的な学習活動の機会に 「町民自主企画講座」

町教委では、町民自主企画講座を通して町民の方が自主的に学習講座、講演会、鑑賞事業等を実施する場合に支援をしています。

年間を通して受け付けていますので、活動してみたい事業がありましたら、ご相談ください。

▼支援内容

社会教育施設の無料貸し出し、広報掲載・チラシ配布等の事業周知など。講師料のかかる事業に対しては、ご相談ください。

▼申込み・問合せ

町教委社会教育課社会教育係
(白樺コミュニティーセンター内・☎ 23 - 2511)



特定健診

お待ちしております 特定健康診査の受診

当別町国民健康保険が実施した特定健康診査は平成20年度には、1,700人以上の方が受診し、受診率はおよそ従来の約2倍の45%の見込みです。

来年度は、受診率が上がるように各地域での呼びかをさらに進めて行きます。

国保特定健康診査と75歳以上の後期高齢者健康診査は5月から始まります。75歳以上の方は、平成21年度から生活習慣病で治療中の方も受診できるようになりました。

健診内容や日程などは、広報とうべつ5月号で詳しくお知らせします。

▼問合せ

住民課国保・後期高齢者医療係
(☎ 23 - 4044)

困ったときの納税Q&A

Q 町外でも口座振替・自動払込はできますか？

A 北海道銀行、北洋銀行、札幌信用金庫の本支店、北石狩農業協同組合の本支所のほか、全国の郵便局で口座振替・自動払込をご利用できます。

詳しくは、納税係までお問い合わせください。

▼夜間納税相談

毎月第2・4木曜日 19時30分まで

▼問合せ

納税課 (☎ 23 - 2341)

東裏体験農村公園の 利用者を募集します

緑豊かな田園風景に囲まれた東裏体験農村公園で家庭菜園を楽しみませんか？

ここでは、ジャガイモやキュウリ、大根など自分で育てたいと思う野菜を自由に栽培することができます。

▼貸出区画・料金

1区画 60㎡ 6,000円

▼貸出期間 5月8日（金）～11月3日（火）

▼申込期間

4月1日（水）～15日（水）

電話で右記連絡先までお申し込みください。



▼その他 畑は、起こした状態で貸し出しますが、作付けに必要な種子や苗、農具などは、ご持参ください。

農村公園には、駐車場、簡易トイレ、水飲み場が設置されています。

▼問合せ・申込み

農林課耕地林政係（☎ 23 - 3096）

年金 読んで得する年金・国保のお話 国保

【今年度の国民年金保険料は月額 14,660円】

今年度の国民年金保険料は、定額で1か月14,660円、付加保険料は1か月400円です。また、納付書で1年分・半年分（4月～9月分）をまとめて4月30日までに納めると、下表のとおり割引となります。

納付方法	期間	月々納付	前納	割引額
定額保険料	1年	175,920円	172,800円	3,120円
	半年	87,960円	87,250円	710円
定額+付加保険料	1年	180,720円	177,510円	3,210円
	半年	90,360円	89,630円	730円

【退職（失業）による特例免除制度】

学生以外の一般の方の免除は申請年度の前年の所得が審査対象になりますが、失業・倒産などの理由の場合には、「雇用保険離職票」・「雇用保険受給資格者証」を添付すると、その方の所得は審査の対象外になります。詳しくは、戸籍年金係へご相談ください。

■役場窓口年金相談日

4月6日（月）・27日（月）

住民課戸籍年金係へお気軽にお越しください。

■年金保険相談所（札幌北社会保険事務所）

4月21日（火）10時～15時 商工会館

▼年金についての問合せは

住民課戸籍年金係（☎ 23 - 2463）

■家族が入院した場合の負担軽減方法

入院された方の年齢などで自己負担限度額が変わります。

① 70歳未満の方

世帯主の申請によって、限度額適用認定証（住民税非課税世帯には「限度額適用認定証・標準負担額減額認定証」）を交付しますので、入院先の医療機関に提示してください。例えば、住民税非課税世帯の自己負担限度額は、35,400円となります。

② 70歳以上の方・後期高齢者医療被保険者の方

住民税非課税世帯：限度額適用認定証・標準負担額減額認定証を申請によって交付しますので、入院先の医療機関に提示してください。

住民税課税世帯：お手元にあります高齢受給者証（後期高齢者被保険者証）を入院先の医療機関に提示してください。

また、外来も一定額以上は、高額療養費の対象となりますが、食事代や差額ベッドなど保険診療以外を対象となりません。当別町国保の加入者と後期高齢者医療被保険者は、役場住民課国保・後期高齢者医療係に、これ以外の方は、加入されている健康保険にお問い合わせください。

▼国保・後期高齢者医療についての問合せは

住民課国保・後期高齢者医療係（☎ 23 - 2467）

健康

選出します

親と子のよい歯のコンクール

「親と子のよい歯のコンクール北海道大会」への推薦者の選出を行います。

日頃のむし歯予防への取り組みの成果を確認しましょう。

▼日時 4月24日(金)

13時30分～15時

▼会場 歯の健康プラザ(錦町)

ふれあい倉庫となり

▼対象

3歳児歯科健康診査を受け、むし歯がなく健康な幼児とその母親または父親

(平成20年4月～平成21年3月)

▼審査内容

問診、口腔診査(親子)

▼申込み

4月10日(金)まで

上位入選者(1～2組)は江別保健所での口腔審査へ推薦します。

▼申込み・問合せ

福祉課保健サービス係

(ゆとろ内・☎23-2346)

妊婦健診

拡大します

妊婦健診の費用助成

町では、安全に安心して出産を迎えるために、妊婦健診の費用の助成を5回から14回に、また、超音波検査の費用の助成を1回から6回に増やします。

▼対象者 妊娠をされている方で平成21年4月1日以降の予定日の方。

①これから届出をされる方

母子健康手帳交付時に受診票を発行しますので、妊娠届出書をご持参の上、下記窓口においでください。

②平成20年度中に届出をされている方

妊娠週数によって受診票を追加発行しますので、母子健康手帳と未使用の受診票を持参の上、4月30日(木)までに窓口においでください。来所の難しい方は電話にてお問い合わせください。

▼申請・問合せ

福祉課保健サービス係

(ゆとろ内・☎23-2346)

③どのように選べばいいの？

保険薬局、保険調剤、基準薬局、処方せん調剤・受付などの表示のある薬局では、処方せんによる調剤を行っています。次の4項目を満たしてくれる薬局をおすすめします。

1. 薬についてきちんと説明してくれる
2. 気軽に相談できる
3. 必要に応じてお薬手帳や文書で情報が受けられる
4. 信頼できる薬剤師がいる

▼問合せ 江別保健所

(☎011-383-2111)

あそびのひろば4月の日程

時間は全て10時～11時30分

▼こりす・うさぎ(1歳6か月～就学前)

会場 ゆとろ(全て火曜日)

14日・21日・28日

▼キャロット(1歳6か月～就学前)

会場 ふとみ保育所(全て水曜日)

8日・15日・22日

▼ミニトマトクラブ(乳児支援)

9日(木) ゆとろ

23日(木) ふとみ保育所

※妊婦さんも遊びに来てください

▼サロン(0歳～就学前対象)

わんぱくサロン(子どもハウス)

毎週月・水曜日(4/1(水)は休み)

すみれサロン(ふとみ保育所)

毎週金曜日

▼詳細・申込み 子育て支援係
(ゆとろ内・☎25-2658)

相談

気軽に相談ください 巡回児童相談

18歳未満のお子さんの発達や子育てに関する相談をお受けします。相談を希望される方は、事前にお申し込みください。

▼日時 6月4日(木)

▼場所 ゆとろ

▼相談内容 ことば・発達の遅れ、療育手帳の判定など

▼相談員 北海道中央児童相談所の児童福祉司・心理判定員など

▼注意事項 相談時間は、申し込み者の事情などを考慮しながら決定します。(場合によっては、授業時間中に設定されることもあります。)

お子さんやご家庭の様子を調査させていただく場合があります。

▼申込み・問合せ 子育て支援係
(ゆとろ内・☎25-2658)



かかりつけ薬局を 持ちましょう

①かかりつけ薬局とは？

自宅の近くやいつも行く薬局などいつも利用する薬局のことを「かかりつけ薬局」といいます。どこの病院にかかっても、同じ薬局で調剤を受けることが大切です。

②どんなことをするの

薬の服用歴や副作用歴・アレルギー歴などの記録を作成し、その記録と照合して安全を確認しながら薬を調剤します。

ガーデニングシーズン到来

花に関する相談はフラワーマスターへ

町では、花を活かしたまちづくりを進めています。現在、町内で6名の方（森本茂さん・荒戸恵子さん・佐藤さよ子さん・菅純子さん・高木馥美さん・長尾正枝さん）がフラワーマスターの認定を受け、花やガーデニングへの助言、指導などの活動を行っています。個人や団体でアドバイスを受けたらという要望がありましたら、ご連絡ください。

◆申込み とうべつフラワーマスター連絡会
（美しいまちづくり課内・☎ 23 - 3073）



美しいまちづくりを応援します

町では、住民の美しいまちづくり活動を支援する補助金を交付します。

◆対象事業

①町管理の公共用地で行う事業

町管理道路、河川敷地内の並木・花壇の設置など

②公共用地以外で行う事業

農村景観整備のための植栽事業、並木、屋敷林など

③その他美しいまちづくりの推進に寄与すると認められる事業

◆補助額

1・2年目 事業費の1/2以内（限度額15万円）

3年目 事業費の1/3以内（限度額10万円）

4年目 事業費の1/4以内（限度額7万5千円）

5年目 事業費の1/5以内（限度額6万円）

◆実施期間 5年（公共用地以外の事業は2年）

◆申込み・問合せ 役場2階美しいまちづくり課に備え付けてある申請書に所定の事項を記入し、4月20日（月）までに提出してください。

美しいまちづくり課（☎ 23 - 3073）

スクールバスに地域の方も乗車できます



小中学校の児童生徒の通学で運行しているスクールバスに地域の方々が乗車できます。児童生徒が乗降している停留所およびJR駅での乗降車ができます。

昨年の4月から試行運行（無料）を行っていましたが、継続して来年の3月末まで運行します。

乗車を希望する場合は、必ず前日の午後4時までに教育委員会へご連絡をください。なお、乗車定員を超える場合は、乗車をお断りすることがあります。

▼運行時間 登校時1便、下校時に午後2時台と3時台に各1便ずつ。※各学校の日課に合わせて時間を決定しているため、毎日の定時運行ではなく、目安としての時間です。

▼運行日 学校の授業がある日（休業日は、土・日曜日、祝日、夏・冬・春休み、開校記念日、臨時休校などです。）

▼運行路線

◎通年運行

当別小・中学校	上当別、金沢、中小屋、蕨岱、東裏
西当別小・中学校	高岡、川下右岸
弁華別小・中学校	弁華別

◎冬期間運行

当別小・中学校	川下左岸
---------	------

▼連絡・問合せ 町教委管理課学校教育係
（☎ 23 - 2689）



試験

募集します 国税専門官

札幌国税局では、国税専門官を募集しています。

▼受験資格

①昭和55年4月2日から昭和63年4月1日生まれの者

②昭和63年4月2日以降生まれの者で大学を卒業または、平成22年3月までに卒業見込みの者。

▼受付期間

4月1日(水)から4月14日(火)
(消印有効)

▼1次試験

6月14日(日)
試験種目 教養試験・専門試験
合格発表日 7月7日(火)

▼2次試験

7月21日(火)～7月28日(火)
のうち指定する日
試験種目 人物試験、身体検査

▼最終合格発表日

8月21日(金)

▼問合せ

申込用紙の請求など詳しいことは、札幌国税局人事第二課人事専門官(☎011-231-5011)にお尋ねください。

消防

実施します 春の火災予防運動

当別消防署では、火災が発生しやすい時期を迎えるにあたり、春の火災予防運動を実施します。

今年は、例年開催していたとうべつ消防まつりをリニューアルし、ふれあい倉庫、当別駅南口駐車場で火災予防ふれあいフェスタ2009を開催します。

みなさんのご来場をお待ちしています。

▼火災予防運動実施期間

4月20日～30日

▼全国統一標語 火のしまつ

君がしなくて 誰がする

▼実施行事

- ・火災予防ふれあいフェスタ2009
詳細は、13ページ
- ・事業所への防火査察
- ・一人暮らし高齢者への防火訪問
- ・住宅用火災警報器設置促進活動など

▼問合せ

当別消防署予防係
(☎23-2537)

都市計画

当別幸町土地区画整理事業 宅地を分譲します

次のとおり募集します。

▼場所 幸町

▼面積 343.83㎡(104.01坪)

▼価格 6,395,000円

(18,600円/㎡)

▼詳細・申込み 美しいまちづくり課
(☎23-3073)



地域オープンサロン

1日コックさん

今月の出店者・メニュー

☆2(木) 弥生さくら館さぼーと隊

高岡産放牧豚丼セット 500円

☆3(金) スズランミニテニスサークル

コロッケ定食 500円

☆7(火) ゆったりん

和風ポークカツランチ 550円

☆9(木) 住谷きみ子さん

ばらちらし丼 700円

☆10(金) つくし食堂

キムチラーメンセット 500円

☆15(水) 北栄町そば食べ隊

北栄町そばランチ 600円

☆16(木) 熊坂貴子さん・磯石万里さん

こだわりヘルシーベジランチ 550円

☆17(金) 林 詩織さん

天然酵母パンDEランチ 550円

☆20(月) キッチン千恵ちゃん

ビーフシチューランチ 550円

☆21(火) 春日町婦人部

てまり寿司ランチ 500円

☆23(木) 佐藤 信廣さん

手打ちそばランチ 700円

☆24(金) マダムおきらくどう

中華街飲茶ランチ 650円

☆28(火) 弥生さくら館さぼーと隊

特製カレーランチ 500円

▼詳細 共生型地域オープンサロン
(☎22-0775)

自衛官募集

募集種目	資格	受付期間	試験日
幹部候補生	一般・技術 22歳以上26歳未満の者【大学修士課程修了者(海上技術幹部候補生志願者は、理工学課程修了者に限る)は28歳未満】22歳未満の者は大卒見込み含む	4月1日(水)～5月12日(火)	〈1次試験〉 5月16・17日(土・日)※17日は飛行要員のみ 〈2次試験〉 ※1次試験合格者のみ 6月16～18日(火～木)の指定する日
	歯科・薬剤 専門の大学を卒業した30歳未満の者。※薬剤は26歳未満の者(薬学修士取得者は28歳未満)		
2等陸・海・空士(男)	18歳以上27歳未満(採用予定月の1日現在)	通年	受付時にお知らせします
自衛隊江別地域事務所(☎011-383-8955) 町環境生活課町民生活係(☎23-3209)			

相談

法律相談 町の顧問弁護士が、皆様の相談に応じます。

▼日時 5月7日(木)

13時30分～

▼申込 福祉係 (☎23-3019)

介護相談 介護や高齢者虐待に関する相談に応じます。

▼日時 月～金曜日

8時45分～17時15分

▼申込み 地域包括支援センター
(☎25-5152)

心配ごと相談

心配や悩み相談を受け付けます。

(毎月第4木曜日)

▼日時 4月23日

13時～16時

▼申込み 社会福祉協議会
(☎22-2301)

寄付

☆当別町社会福祉協議会へ

▼豊島 和子さんより 10万円

▼平島 愛子さんより 10万円

▼横井 寿之さんより 10万円

▼桐木 恵子さんより 5万円

▼寺林 光男さんより 5万円

▼遠藤 雄二さんより 5万円

▼木村 和彦さんより 5万円

▼鹿島・竹中土木・岩倉JVより
20,290円

▼当別高校農業クラブ定時制より
109円

▼当別高校3年F組より 23円

☆社協 愛の小箱へ

▼ぎん平より 13,632円

☆まちづくり基金へ

▼匿名の方より 129,386円

☆当別町教育委員会へ

▼札幌エルピーガス協会石狩支部より
AED(自動体外式除細動器)1台

交通安全情報

新入学児童を交通事故から守ろう

新学期が始まり、戸外での活動が活発になります

・ドライバーの皆さんへ

目配り・気配りで安全運転を実践しましょう。

・保護者の皆さんへ 安全指導・目配りをしっかり行いましょう。

4月6日から15日まで**春の交通安全運動**が始まります。

(平成21年2月末の交通事故累計)

	H21年	H20年	増減数
発生件数	9	20	-11
死者数	0	0	0
傷者数	11	28	-17

■人の動き 3月1日現在 ■ ()は前月との比較

人口	19,069 人	(15人減)
世帯	7,769 世帯	(9世帯減)
男	9,330 人	(10人減)
女	9,739 人	(5人減)

お店・事業所・イベントの**宣伝は**
広報とうべつがお得

広告

募集中

毎月7,700部発行
1枠×1月

8,000円から

お問合せは
役場広報広聴係

TEL23-3069

防犯協会ニュース

●振り込め詐欺に注意を

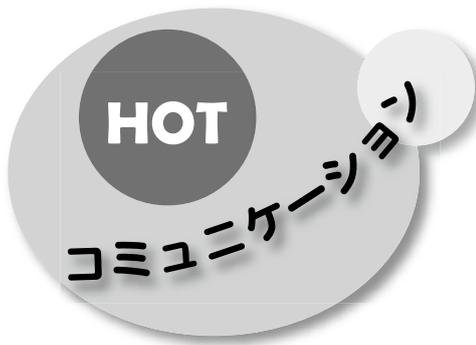
「定額給付金の交付手続きの代行をする」と装った振り込め詐欺が発生していますので、十分注意してください。不審電話や不審な人が訪問してきたら、迷わず110番通報をしてください。

●平成21年中の刑法犯発生状況(平成21年2月末)

侵入窃盗	自動車盗	車上狙い	タイヤ盗	自転車盗	万引き	不審者
3件	0件	2件	2件	0件	2件	2件

●当別町防犯協会・☎23-2711

広告



中高生が社会貢献に取り組む



自分たちの手で社会に貢献できることを探そうと町内の中学校、当別高校、ジュニアリーダーの代表が集まり、1月に引き続き2回目のタウンミーティングを開催しました。

メンバーが積極的に意見を出し合い、話し合いを進めた結果、各学校ごとにペットボトルのキャップを集め、世界の子どもたちにワクチンを届ける活動に取り組むことを決定しました。4月から5月にかけて各学校で取り組みます

(3月14日 総合体育館)

熱唱 カラオケ大会



当別町カラオケ連合会が第14回当別町長杯争奪カラオケ大会を開催しました。

町内はじめ、紋別市からの出場者もあり、約100名がシニアの部、一般の部にエントリーし、自慢の「のど」を披露し、会場に集まった大勢のカラオケファンを沸かせました。

また、ゲストとして歌手の城山さとみさんが出演し大会に花を添えました。

(3月22日

白樺コミュニティセンター)

AEDの寄贈



札幌エルピーガス協会石狩支部より町教育委員会へAED（自動体外式除細動器）1台が寄付されました。このAEDは、弁華別中学校に設置し、不測の事態に備えます。(2月26日 弁華別中学校)

広 告

共生の精神を学ぶ



NPO 法人ゆうゆう 24 が当別町ボランティアフォーラムを開催しました。

第 1 部では、北海道医療大学看護福祉学部の横井寿之教授が基調講演を行い、障がいを持つ方をとりまく現状を説明し、地域の中で障がいを持つ方を受け入れるシステム作りが必要と訴えました。

第 2 部のシンポジウムでは、障がいを持ちながら町内で働く 6 人の方がそれぞれの仕事の目標、やりがいなどを発表しました。

(3 月 14 日 ゆとろ)

除雪ボランティア



冬の除排雪が困難な高齢者や障害者のいる世帯を対象に、緊急時の脱出口や日常生活に必要な通路を確保するための除雪ボランティア活動が行われました。

参加したのは、町社会福祉協議会の呼びかけに賛同した、北海道医療大学生、航空自衛隊員ら約 30 名。

また、当別町日赤奉仕団の団員が、昼食に豚汁の炊き出しを行い、ボランティア参加者の体を温めていました。

(2 月 27 日 末広団地)



広 告

健康ひろば 4月の予定

各種健診

健診名	受付日時 / 場所	内容	
乳幼児	1歳8か月 3歳児健診	17 金 13:00～14:00 ゆとろ	個別通知 しています
	フッ素塗布	21 火 13:00～15:00 ゆとろ	1歳～小学校就学前 要予約
各種健診	センター検診	15 水 7:55～8:10 ゆとろ	個別通知 しています
	肝炎ウィルス検診	町内医療機関 で随時実施 ※予約の上、 受診ください	B・C型肝炎 ウィルス検査
	特定健診		40～74歳の方
	後期高齢者健診		75歳以上の方

予防接種

母子健康手帳を持って直接
会場にお越しください。

種類	受付日時 / 場所	対象
ポリオ	9 木 13:00～13:30 ゆとろ	生後3か月から90か月 までの子と昭和50年から 52年生まれの今回ポリオ を接種する子の保護者
	10 金 西コミ	
	22 水 ゆとろ	

DPT、DT、麻疹風疹混合ワクチンは、随時個人で接種できます。右記医療機関へ予約の上、受診ください

■各種健診・予防接種についての詳細・申込み

福祉課保健サービス係（ゆとろ内・☎23-2346）

■特定健診・後期高齢者健診についての詳細・申込み

住民課国保・後期高齢者医療係（☎23-4044）

つどい

事前申し込みが必要です

つどい名	日時 / 場所	対象
友遊会 (当別地区)	20 月 10:00～13:00 ゆとろ	高齢の方で外出の 機会が少なくなっ ている方
かすみ草の集い (西当別地区)	28 火 10:30～14:30 西コミ	
断酒会	第1・第3月曜 18:00～21:00 ゆとろ	お酒で悩んでいる 方・家族
身体障害者 カラオケの会	14 火 13:00～17:00 ゆとろ	障害者の方 どなたでも

▼申込み 友遊会・かすみ草の集い 保健サービス係
断酒会 日中（江別保健所・☎011-383-2111）
夜間（工藤・☎22-2510）
身体障害者カラオケの会 社会福祉協議会
（ゆとろ内・☎22-2301）

各種相談

相談名	日時 / 会場 / 申込み等
健康相談	22 水 9:30～11:30 会場 / ゆとろ 申込み / 保健サービス係
心の健康相談 【心の悩みについ て専門医が相談】	24 金 13:30～16:00 会場・申込み 江別保健所 （☎011-383-2111）

町内委託医療機関

肝炎ウィルス検診、特定健診、
後期高齢者健診は全ての医療機関で実施

医療機関名	電話番号	予防接種
勤医協当別診療所	23-3010	○
近藤医院	23-2021	○
さわぎき医院	25-2055	○
スウェーデン通り内科 循環器科クリニック	25-3151	○
とうべつ内科クリニック	22-1313	
堀江病院	22-3111	
北海道医療大学 歯科内科クリニック	23-1604	

広 告

急病当番医（内科系）

- ◆ 平日 19時～21時
- ◆ **土曜** 14時～17時
- ◆ **日曜・祝日** 9時～12時・14時～17時

日	月	火	水	木	金	土
			4/1 堀江	2 勤医協	3 スウェーデン	4 さわざき
5 とうべつ	6 近藤	7 堀江	8 堀江	9 堀江	10 勤医協	11 スウェーデン
12 堀江	13 とうべつ	14 近藤	15 堀江	16 堀江	17 堀江	18 堀江
19 スウェーデン	20 さわざき	21 とうべつ	22 近藤	23 堀江	24 堀江	25 堀江
26 堀江	27 勤医協	28 さわざき	29 とうべつ	30 近藤	5/1 堀江	2 堀江
3 堀江	4 堀江	5 勤医協	6 スウェーデン	7 とうべつ	8 近藤	9 堀江
10 さわざき	11 堀江	12 堀江	13 勤医協	14 スウェーデン	15 さわざき	16 近藤

■ **江別市夜間急病センター**（江別市錦町 14 番地 5）
 内科・小児科の急病の方の診察をします。
 応急対応をします。薬は 1 日分の処方です。
受付時間 19時～翌朝 6 時 30 分（年中無休）
☎ 011 - 391 - 0022

■ **北海道救急医療情報システム**
 受診可能な病院を検索できます。
☎ 0120 - 20 - 8699
☎ 011 - 221 - 8699（携帯電話から）
 FAX 011 - 272 - 8699
 URL <http://www.qq.hokkaido.jp>

【5月の予定】

8	金	4 か月・10 か月児健診	ゆとろ	13:00～14:00
8	金	BCG 予防接種	ゆとろ	14:00～14:30
11	月	センター検診	西コミ	7:55～8:10



いきいき
健康生活

目指そう！「はしかゼロ」

はしかは最近 10～30 代を中心とした感染が多く見られ社会的な問題になっています。はしかに感染すると高熱、発疹が主な症状ですが肺炎・中耳炎・脳炎などの合併症を引き起こし死に至ることもあります。免疫を持っていないと、子どもから大人まで誰でもかかってしまう恐ろしい病気です。自分が感染しないためだけでなく周りの人にも感染を広げないためにも予防接種を受けることが最も有効です。

町では、麻しん風しん定期予防接種を下記のとおり行っています。「はしかゼロ」に向けて忘れずに予防接種を受けましょう！

- 第 1 期 1 歳～1 歳 11 か月
- 第 2 期 小学校就学前（H15.4.2～H16.4.1 生まれ）
- 第 3 期 中学校 1 年生相当（H8.4.2～H9.4.1 生まれ）
- 第 4 期 高校 3 年生相当（H3.4.2～H4.4.1 生まれ）

※町内の予防接種実施医療機関へ必ず事前に予約の上、受診してください。また、第 3・4 期の対象者には個別通知をしておりますので同封されている予診票を持って受診してください。

※上記以外の方へは、自己負担で予防接種を受けることができる医療機関の情報を提供

していますので、

お問い合わせください。

▼詳細 福祉課保健サービス係
 （ゆとろ内・☎ 23 - 2346）



広 告



地域と企業の繁栄に 従業員表彰

3月2日 商工会館

町商工会主催の永年勤続優良従業員表彰が行われ、河村会長から満5年から満40年の勤労者81人に表彰状と記念品が贈呈されました。

この表彰は、長年に亘って町内の会社に勤めた人を称えようと昭和58年から行われています。

勤労者を代表して平電気商会の中谷征俊さんは「これからも商工業の発展や地域の活性化のために力を注いでいきたい」と感謝を述べ、気持ちを新たにしました。



女性団体連絡協議会 40年の歩み

3月7日 田西会館

平成20年度女性の集い・当別町女性団体連絡協議会創立40周年式典が開催され、多くの出席者で祝いました。女性団体連絡協議会は、女性の社会進出を促してきたほか、農業、商工業や地域活動などに大きく貢献してきました。

式典では、村上会長が「これからも“手をつなごう・人の輪・当別の輪!”をテーマに希望の持てる明るい社会を継続させていきたい」と挨拶したほか、祝賀会では、加盟している団体が余興を披露しました。



手作りベッドの講習会

3月14日 旧東裏小学校

旧東裏小学校を利用して地域活性化につなげようと活動している田園文化創造協議会が、手作りベッドの講習会を開催し、東裏地域の方など30名が参加しました。

講師は、昨年11月から体育館を工房に使用している「家具工房旅する木」の須田修司さんが務め、参加者は、木の板を紙やすりで磨き、丁寧に組み立てました。

仕上げには、この地域で作られた亜麻を使った亜麻仁油が塗られ、ぬくもりが伝わるベッドが完成しました。